

記入例 | 月額変更届

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日提出

| | | |
|-------------------|------------------|--------------------------------|
| 提出者記入欄 | 被保険者等記号 | 1 2 3 4 |
| | 厚生年金保険事業所整理記号 | |
| | 事業所所在地 | 〒 111 - 1111 東京都〇〇区〇〇町1-2-3 |
| | 事業所名称 | 〇〇〇〇 株式会社 |
| 事業主氏名 | 代表取締役社長 〇〇 〇〇〇 | |
| 電話番号 | 03 (1234) 5678 | |
| 社会保険労務士記載欄 氏名等 | | |

| 項目名 | ① 被保険者等番号 | | ② 被保険者氏名 | | ③ 生年月日 | | ④ 適用年月 | | ⑦ 個人番号等 (70歳以上被用者) | |
|-----|-------------|-------------|-------------|------------|--------------------------|-----------------|-------------|---|--------------------|---|
| | ⑤ 従前の標準報酬月額 | | ⑥ 従前改定月 | | ⑦ 昇(降)給 | | ⑧ 遡及支払額 | | | |
| | ⑨ 給与支給月 | ⑩ 給与計算の基礎日数 | 報酬月額 | | ⑬ 合計 (⑪+⑫) | | | | | |
| | | ⑪ 通貨によるもの | ⑫ 現物によるもの | | | | | | | |
| 1 | ① | 12 | ② 〇〇〇 〇〇 | | ③ 令和 7 平成 10 年 12 月 01 日 | | ④ 1 年 8 月 | | | |
| | | 健 0200 千円 | 厚 0200 千円 | ⑥ 30 年 9 月 | | ⑦ 5 月 1.昇給 2.降給 | | ⑧ | | ⑬ |
| | ⑨ | 5 月 31 日 | ⑪ 235,000 円 | ⑫ 0 円 | ⑬ 235,000 円 | | ⑭ 705,000 円 | | | |
| | | 6 月 30 日 | 235,000 円 | 0 円 | 235,000 円 | | 235,000 円 | | | |
| | 7 月 31 日 | 235,000 円 | 0 円 | 235,000 円 | | | | | | |

記入方法 | 記入例を参考に次の事項に注意のうえご記入ください。

- ① 被保険者等番号 資格取得時に払い出しされた健康保険の番号をご記入ください。
- ④ 改定年月 標準報酬月額が改定される年月をご記入ください。「⑨給与支給月」で記入した3か月目の翌月となります。
- ⑤ 従前の標準報酬月額 現在の標準報酬月額を千円単位でご記入ください。
- ⑥ 従前改定月 「⑤従前の標準報酬月額」が適用された年月をご記入ください。
- ⑦ 昇(降)給 昇給又は降給のあった月の支払月を記入し、該当する区分を○で囲んでください。
- ⑧ 遡及支払額 遡及分の支払があった月と支払われた遡及差額分をご記入ください。
- ⑨ 給与支給月 固定的賃金の変動が反映した月から3か月分の月についてご記入ください。
- ⑩ 給与計算の基礎日数 「月給・週給者」は暦日数、「日給・時給者」は、出勤日数等報酬(給与)支払の基礎となった日数をご記入ください。月給・週給者で欠勤日数分の給与を差し引く場合は、就業規則等で定められた日数から欠勤日数を除いてご記入ください。(注意：基礎日数は給与支払日ではありません。)
- ⑪ 通貨によるもの 給料、手当等名称を問わず労働の対償として金銭(通貨)で支払われるすべての合計金額を記入してください。
・昇給がさかのぼったためその差額が支給された場合は、その差額も含めて記入し、「⑧遡及支払額」に支給月と差額をご記入ください。
- ⑫ 現物によるもの 報酬のうち、食事、住宅、被服、定期券等、金銭(通貨)以外で支払われるものについてご記入ください。
・現物によるものの額は、厚生労働大臣によって定められた額(食事、住宅については都道府県ごとに定められた価格、その他被服等は時価により算定した額)をご記入ください。
- ⑬ 総計 3か月間の「⑬合計」を総計してください。
- ⑭ 平均額 「⑬総計」の金額を3で除して平均額を算出し、1円未満を切り捨ててください。
- ⑮ 修正平均額 昇給がさかのぼったため対象月中に差額分が含まれている場合は、差額分を除いた平均額をご記入ください。
- ⑯ 備考